

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
21105	実用英語 Practical English	尾上 麗子		基礎	1	選択	1年前期

科目の概要

本科目では、栄養士を目指す学生に対して、グローバル社会に対応できる人材の育成を考慮し、英語の基礎知識の復習をすると共に、職業に活かすことができる実践的な英語の習得を目標としています。テキストそのものが管理栄養士に関連した内容で専門性が高く、カラフルでわかりやすい写真がたくさん使用されています。専門用語を英語で言えることが自信につながり、活動の幅を広げて国際的な視野でキャリアを考えることが可能になります。今まで英語を不得意としていた学生も、短期間で楽しく実用的な英会話を身に付けることができるような指導を行います。

学修内容	到達目標
① 英文法の基礎知識を理解する。 ② 英語の発音力を強化する。 ③ 英語の語彙力を高める。 ④ 英語のリスニング能力を向上させる。 ⑤ 英語で日常会話ができるようになる。	① 英語の基本的な文章構造を理解することができる。 ② 英文を正しく音読することができる。 ③ 英文の内容を把握することができる。 ④ 英文の意味を解釈することができる。 ⑤ 英語を実際に運用することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	これからのグローバル社会で、必要不可欠とも言える英語を身につけるために、自分の意志で積極的に発音や英会話練習を行うことができる。
	働きかけ力	外国人とのコミュニケーション手段として英語力を高めるために、より多くの人と関わり合い、やる気を出して英会話練習に取り組むことができる。
	実行力	指導に従って、舌や唇の動きを確認しながら正しい英語の発音を理解し、納得がいくまで継続的な練習をくり返し行うことができる。
考え抜く力	課題発見力	ペアワークやグループワークを通して自分が抱えている問題点を把握し、いつも客観的に自分自身の評価を行うことができる。
	計画力	自分は英語が不得意であるというコンプレックスを持って過ごしているより、留学や国際的な社会貢献などの可能性も考えて、いつでも柔軟に対応できる将来設計を計画することができる。
	創造力	英語の学習方法に工夫を加えながら、自分に合った新たな学習方法を導入して、少しずつでも進歩が実感できるような学習環境作りを提供することができる。
チームで働く力	発信力	母国語同様に、コミュニケーションのツールとして英語を活用していくために、様々な人種の人との交流を楽しみながら、相手と自分の考えや意見を分かち合うことができる。
	傾聴力	ペアワークやグループワークの中で、他の人たちの考えや意見を尊重しながら、自分の考えや意見を正確に伝えることができる。
	柔軟性	英語の学習を通して、異なる文化や思想を持つ人々の気持ちを理解することができ、価値観や習慣を尊重しながら対話の内容を配慮することができる。
	状況把握力	他の人たちとの間に信頼関係を築くため、責任のある行動を取り、コミュニケーションを通して信頼度を高めていく努力ができる。
	規律性	最初の授業で取り決めたクラスルールを守りながら、授業が円滑に進行し、クラスの統率が取れるよう配慮することができる。
	ストレスコントロール力	英語学習でプレッシャーや劣等感を感じたりしても、うまく気持ちの切り替えをして、次のステップへと進む気力を持つことができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：” Speaking of Nutrition ” Peter Vincent / Alan Meadows / Naoko Nakazato (南雲堂)
補足プリント (随時配布)
参考文献：英和辞書、和英辞書、高校で使用した文法参考書

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連： 特になし

学修上の助言	受講生とのルール
授業中に、丁寧かつ徹底的に英語の発音指導を行うので、自発的に毎日のペースで音の出し方やイントネーション、英単語のアクセントの位置を確認しながら、積極的に反復練習に取り組むこと。	・テキスト、英語用ファイルを用意すること。 ・携帯電話は電源を切り、カバンに入れておくこと。 ・小テスト評価点に影響するので、欠席は極力しないこと。 ・やむを得ず欠席した場合は、必ずレポートを提出すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・ 実技・口述試験		①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
	平常評価	小テスト	60	①	✓	・小テストは、テキストの各ユニットごとの内容を理解できているかを確認するために毎週授業開始後すぐに行うものであり、選択問題4問、ディクテーション問題1問、リスニング問題1問の簡単な様式で出題する。 ・小テストの点数を平均して判定する。
				②		
				③	✓	
				④	✓	
				⑤		
		レポート		①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
		成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	30	①		・英語のスピーキング能力を定期的に確認することで、習熟度、理解力、伝達能力の向上を評価する。 ・スピーキングテストは、個人1回、ペアワーク1回、グループワーク1回の計3回行う。 ・3回分のスピーキングテストの点数を平均して判定する。 ・グループワークのスピーキングテストでは、管理栄養士として指導に重点を置きたい内容を考え、役割分担に応じて各メンバーがプレゼンテーションを行う。
				②	✓	
				③	✓	
				④		
				⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性) 授業以外の時間においても、自分で課題に取り組むことができる。 (実行力) 英語力の向上を意識しながら、粘り強く学習することができる。 (課題発見力) 自ら課題を考えて継続的な学習を進めることができる。 (創造力) グループワークなどで、意見やアイデアを提案することができる。 (発信力) 発言や発表する内容を、的確な英文で表現することができる。 (傾聴力) 英語の活動において、人の意見をしっかり聞くことができる。 (規律性) 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など授業に支障をきたす行動を慎み、授業が円滑に進行するようクラスルールを守ることができる。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価 割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
筆記試験・小テスト・口頭テストにおいて、極めて優秀な成績を修めている。授業中の態度は良好で、グループワークにおいても積極的な発言が多く見られ、英語を実践的に運用する能力を発揮することができる。[A(優)の基準] なお、A(優)の基準に加えてS(秀)は、コミュニケーション能力が非常に高く、日常的なことから個人的な意見や感想までの確かな英語で説明することができる。[S(秀)の基準]	英文法の基礎を理解し、筆記試験や小テストにおいて、優良な成績を修めている (①)。授業中の態度は良好で、ペアワークやグループワークにおいても意欲が感じられ、十分に英語を伝達する能力を発揮することができる (②)。 [B(良)の基準]=①+② [C(可)の基準]=①

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	[Unit 1] Meeting People	講義・ワークシート 発音練習 会話練習	be動詞と一般動詞の区別を理解し、英文における動詞の働きを理解することができる。	(復習) 文法事項を復習し、ワークシートの例文を音読する。 (予習) 次のUnitの会話を音読し、内容を理解する。	180	主体性 課題発見力 規律性
2週 /	[Unit 2] Talking about the Kitchen [1]	講義・ワークシート 発音練習 会話練習 小テスト	There is/are…構文を使用し、どこに何があるか位置を説明することができる。	(復習) 文法事項を復習し、ワークシートの例文を音読する。 (予習) 次のUnitの会話を音読し、内容を理解する。	180	主体性 課題発見力 規律性
3週 /	[Unit 3] Talking about the Kitchen [2]	講義・ワークシート 発音練習 会話練習 小テスト	台所用品を表す英単語を正しく発音し、様々な英文の中で活用することができる。	(復習) 文法事項を復習し、ワークシートの例文を音読する。 (予習) 次のUnitの会話を音読し、内容を理解する。	180	主体性 課題発見力 規律性
4週 /	[Unit 4] Likes and Dislikes	講義・ワークシート 発音練習 会話練習 小テスト	英語で好き嫌いの表現を伝えることができる。	(復習) 文法事項を復習し、ワークシートの例文を音読する。 (予習) 次週行うスピーキングテストのための練習をする。	180	主体性 課題発見力 規律性
5週 /	[Unit 5] Ordering Food: What Do We Need?	講義・ワークシート 発音練習 会話練習 小テスト スピーキングテスト [個人]	数えられる名詞と数えられない名詞を説明することができる。	(復習) 文法事項を復習し、ワークシートの例文を音読する。 (予習) 次のUnitの会話を音読し、内容を理解する。	180	主体性 課題発見力 規律性
6週 /	[Unit 6] At a Restaurant	講義・ワークシート 発音練習 会話練習 小テスト	英語で注文や要望を伝えることができる。	(復習) 文法事項を復習し、ワークシートの例文を音読する。 (予習) 次のUnitの会話を音読し、内容を理解する。	180	主体性 課題発見力 規律性
7週 /	[Unit 7] Cooking	講義・ワークシート 発音練習 会話練習 小テスト	順序を表す英語表現を使用し、時系列の英文に活用することができる。	(復習) 文法事項を復習し、ワークシートの例文を音読する。 (予習) 次のUnitの会話を音読し、内容を理解する。	180	主体性 課題発見力 規律性
8週 /	[Unit 8] Recipes	講義・ワークシート 発音練習 会話練習 小テスト	肯定文から命令文を作成することができる。	(復習) 文法事項を復習し、ワークシートの例文を音読する。 (予習) 次のUnitの会話を音読し、内容を理解する。	180	主体性 課題発見力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	[Unit 9] Giving Dietary Advice	講義・ワークシート 発音練習 会話練習 小テスト	英文で使われる助動詞の意味の違いを理解し、伝える内容に応じて的確に助動詞を使い分けることができる。	(復習) 文法事項を復習し、ワークシートの例文を音読する。 (予習) 次週行うスピーキングテストのための練習をする。	180	主体性 課題発見力 規律性
10 週 /	[Unit 10] Talking about Diets	講義・ワークシート 発音練習 会話練習 小テスト スピーキングテスト [ペアワーク]	頻度を表す副詞を使用し、細かいニュアンスを伝える英文に活用することができる。	(復習) 文法事項を復習し、ワークシートの例文を音読する。 (予習) 次のUnitの会話を音読し、内容を理解する。	180	主体性 課題発見力 規律性
11週 /	[Unit 11] Researching Diet Information	講義・ワークシート 発音練習 会話練習 小テスト	簡単な比較表現を理解し、英文に活用することができる。	(復習) 文法事項を復習し、ワークシートの例文を音読する。 (予習) 次のUnitの会話を音読し、内容を理解する。	180	主体性 課題発見力 規律性
12 週 /	[Unit 12] Life as a Dietitian	講義・ワークシート 発音練習 会話練習 小テスト	現在形と現在進行形を使い分けることができる。	(復習) 文法事項を復習し、ワークシートの例文を音読する。 (予習) 次のUnitの会話を音読し、内容を理解する。	180	主体性 課題発見力 規律性
13 週 /	[Unit 13] Talking about Diets	講義・ワークシート 発音練習 会話練習 小テスト	動詞の過去形を作ることができる。	(復習) 文法事項を復習し、ワークシートの例文を音読する。 (予習) 次のUnitの会話を音読し、内容を理解する。次週から行うスピーキングテストのための練習をする。	180	主体性 課題発見力 規律性
14 週 /	[Unit 14] People with Special Dietary Needs	発音練習 会話練習 小テスト スピーキングテスト [グループワーク]	英語で未来を表す表現(未来形と現在進行形)を活用することができる。	(復習) 文法事項を復習し、ワークシートの例文を音読する。 (予習) 次のUnitの会話を音読し、内容を理解する。次週当番のグループについてはスピーキングテストのための練習をする。	180	主体性 課題発見力 規律性
15 週 /	[Unit 15] Talking about Experiences	発音練習 会話練習 小テスト スピーキングテスト [グループワーク]	簡単な現在完了形の疑問文を作成することができる。	(復習) 文法事項を復習し、ワークシートの例文を音読する。 スピーキングテストのために用意した英語の反復練習をする。	180	主体性 課題発見力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力